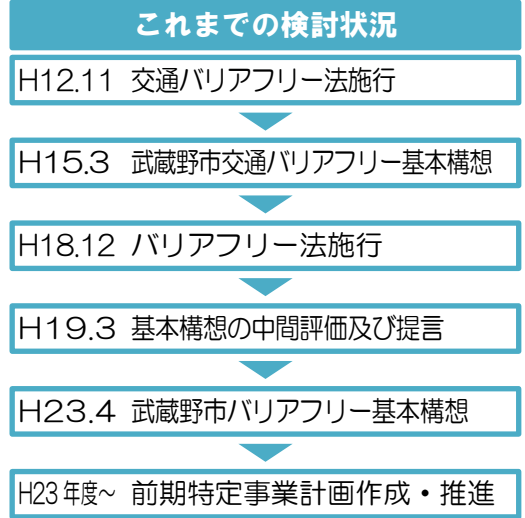


# 武蔵野市バリアフリー基本構想の中間評価 概要版

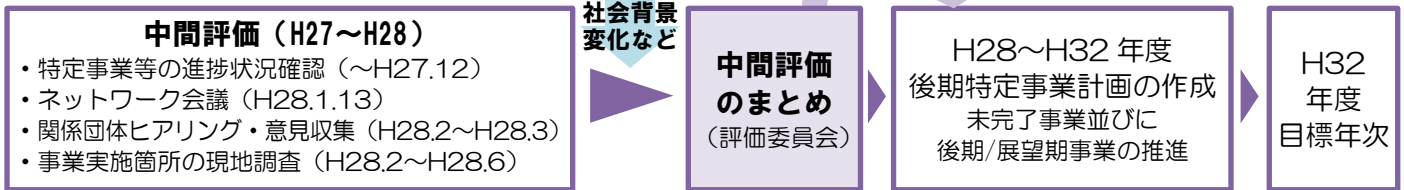
平成 28 年 9 月 武蔵野市バリアフリー基本構想評価委員会

## 1 基本構想の概要と中間評価の目的

### 武蔵野市バリアフリー基本構想における重点整備地区



### ● 中間評価の目的・流れ



#### 武蔵野市バリアフリーネットワーク会議

目的：市民及び事業者が協働してバリアフリー化を推進する (中間評価に際し設置、今後年 1 回程度実施)

#### 武蔵野市バリアフリー基本構想評価委員会

目的：基本構想等による事業の進捗状況を把握、評価を行う (学識経験者・市)

## 2 前期特定事業計画の進捗状況

上段：事業数 下段：着手率

	公共交通 特定事業	道路 特定事業	都市公園 特定事業	建築物 特定事業	交通安全 特定事業	合計
吉祥寺駅 周辺地区	65 事業 88%	24 事業 92%	9 事業 89%	89 事業 94%	8 事業 100%	195 事業 92%
三鷹駅 周辺地区	33 事業 91%	19 事業 89%	17 事業 53%	109 事業 82%	11 事業 100%	189 事業 83%
武蔵境駅 周辺地区	54 事業 87%	14 事業 79%	5 事業 100%	45 事業 78%	9 事業 100%	127 事業 84%
合計	152 事業 88%	57 事業 88%	31 事業 71%	243 事業 86%	28 事業 100%	511 事業 86%

#### 全事業の進捗内訳

完了：193 事業 (38%)  
 実施中：249 事業 (49%)  
 検討中：28 事業 (5%)  
 未着手：41 事業 (8%)

#### 未着手の主な理由

- ・予算不足
- ・具体候補地無し
- ・必要性を再検討
- ・実施時期ずれ 等

※各事業の進捗状況を「完了・実施中・検討中・未着手」に整理し、全事業数のうち「完了・実施中」の事業割合を着手率とした。



吉祥寺駅エレベーター整備



武蔵野市役所思いやり駐車施設



武蔵境駅北口駅前広場再整備

### 3 各主体による評価



ネットワーク会議の様子

#### ● 武蔵野市バリアフリーネットワーク会議

第1回 実施日：平成28年1月13日（水） 出席者：稲垣会長ほか19名

#### ● 関係団体ヒアリング・意見票による利用者意見の収集

団体名	実施日	人数
①武蔵野市老人クラブ連合会	平成28年2月9日（火）	人数：30名
②子どももおとなも楽しむ生活プロジェクト	平成28年2月22日（月）	人数：7名
③武蔵野市身体障害者協会（視覚障害者）	平成28年2月27日（土）	人数：10名
④武蔵野市地域自立支援協議会障害当事者部会	平成28年3月14日（月）	人数：11名

#### ● 武蔵野市バリアフリー基本構想評価委員会・現地調査の実施

回	実施日	意見交換の対象地（現地調査）	出席者
第1回	平成28年2月15日（月）	吉祥寺駅・三鷹駅・武蔵境駅周辺	佐藤委員長ほか4名
第2回	平成28年4月13日（水）	武蔵境駅周辺	佐藤委員長ほか15名
第3回	平成28年6月6日（月）	吉祥寺駅・三鷹駅周辺	佐藤委員長ほか14名
第4回	平成28年7月22日（金）	—（中間評価のまとめについて）	佐藤委員長ほか17名

※第2回・第3回・第4回はネットワーク会議委員と合同で現地調査・意見交換等を実施

### 4 中間評価のまとめ

評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・86%と高い着手率</li> <li>・情報面や心のバリアフリーに関する独自の工夫</li> <li>・吉祥寺駅や武蔵境駅の大規模改修や3駅周辺整備、ノンステップバスの導入、歩道のバリアフリー化、音響式信号機の導入等に対し、バリアフリー化の成果が実感できる</li> </ul>	
今後の課題（全体）	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ハード整備の効果を持続できる運用面・維持管理面における取組の必要性</li> <li>②整備段階からの施設利用者参加の仕組みづくりの必要性</li> <li>③事業者間の連携の必要性</li> </ul>	
特定事業別課題	公共交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーターの利用集中や設置場所のわかりやすさの改善</li> <li>・バス停留所の上屋・ベンチ設置に向けた継続検討</li> <li>・バス車内混雑時の車いすやベビーカー対応</li> </ul>
	道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道上での自転車利用への対策</li> <li>・視覚障害者誘導用ブロックの更新・規格統一・コントラストの確保</li> <li>・維持管理の中での歩行空間の質の向上</li> </ul>
	都市公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの利用時間制限に関する運用上の対応</li> <li>・井の頭公園出入口のバリアフリー化の継続検討</li> </ul>
	建築物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーターやトイレの利用集中への対応、手話などの人的対応</li> <li>・授乳室の設置や適切な運用</li> </ul>
	交通安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音響式信号機の夜間運用や携帯端末との連携、広幅員道路での青信号時間確保</li> </ul>

### 5 後期特定事業計画作成にあたっての留意点

社会背景の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者差別解消法（H28.4 施行）を踏まえた心のバリアフリーの推進</li> <li>・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を想定した、受入体制の強化</li> <li>・多様な外国人の来訪を想定した適切な案内サインの整備や、ICTを活用した情報のバリアフリーの充実</li> </ul>
前期計画における未完了事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施中事業の着実な事業推進、検討中事業の具体化に向けた検討</li> <li>・事業者判断で実施しないと判断している事業の状況確認・調整</li> </ul>
後期・展望期事業の具体的な検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想時に位置づけた事業について、実現可能性を含めた検討</li> <li>・検討経緯を踏まえ、可能な限りより具体的な事業内容を特定事業計画に記載</li> </ul>
基本構想の推進とスパイラルアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーネットワーク会議を活用した意見交換の継続</li> <li>・事業実施後の事後評価、スパイラルアップの仕組みの検討</li> </ul>